

現代日本は超苦情社会
であります。

皆さんも苦情を言った
り、言われたりしたこと
があると思いますが、最
近は何でもかんでも苦情
を言った方が正義となる
ような、少し気持ち悪い
世の中になった様な気が



一雄 鋤柄

します。

農業に関しても、本当
に様々な苦情が多くあり
ます。

例えば、田畑に家畜の
たい肥を撒けば、即座に
臭いと言われるので、結
局は化学肥料しか使えま
せん。行き場のない家畜

農業にまつわる苦情

消費者も農業の必要性を理解して

のたい肥は産業廃棄物に
なり、焼却処分されます。
これが、はたして環境に

を落としてから移動しな
ければならないので非常
に効率が悪いです。

私の家業である養豚の
場合は、出荷で豚を大型
トラックに積み込みをし

ていると、通行の邪魔だ
と警察に通報されます。
農道で農作業の一つであ

ます。
「神イエスは人間をお作
りになったが、その人間
は他の生き物を食料とし
て食べなければ生きてい
けないので、食べ物を生
産している農民は神の次
に尊い」。

良いのでしょうか。

また、田んぼを耕した
後、トラクターで農道を
走ると、多少、田んぼの
泥が道路に付着します。
すると、車が汚れると警
察に通報されます。だか
ら、いちいちタイヤの泥



家畜の糞尿を発酵させ、良質な有機堆肥にする縦型
コンポスト(たい肥化装置)

る出荷をしてはいけな
いのか。

こんなことで、苦情を
言っている国は日本だけ
だと思えますが、もう少し
苦情の内容を精査して、
何が大切なかを考
えるようにして欲しいも
のです。

米国では学校で、農業
の重要性をこう教えてい

米国民は農業がいかに
国家にとって大切かを良
く知っているのです。

我々農家は、日々努力
して一生懸命に食料生産
をしていますので、消費
者の皆さんにもう少し農
業や畜産の必要性や重要
性を理解して欲しいもの
です。

すぎから・ゆういち トヨタファーム代表、夢農人と
よた初代会長、蔵力フェニックスも農園代表、堤小学校元
PTA会長、神戸学院大学経済学部卒業、三州豚の生
産農家。1969年生まれ。豊田市堤本町在住。

農の視点

28